

施政方針に対する各会派の総括代表質問

2月27日に行われた行財政全般にわたる今後1年間の市長の施政方針に対し、3月1日に各会派の代表が総括代表質問を行い、市長の姿勢や考えを質問しました。主な内容は次の通りです。

なお、施政方針の概要は広報ひがしくるめ(3月15日号)に、全文は東久留米市ホームページに掲載されています。

自民クラブ

未来のための安定的まちづくりについて

質問 デマンド型交通の実験運行に向けた進め方は、

市長 「東久留米市デマンド型交通の実験運行に向けた運営方針」に示した主要項目と目標スケジュールに沿って、31年度末に開始ができるよう進めていく。

質問 保育園の待機児解消に向けての取り組み状況と課題を伺う。

市長 31年度に向けては定員拡大や新規開設など兩名分の待機児解消策を見込んでいる。また、定員に空きがある一方、待機児がいる状況は課題であり、利用者支援事業などを活用し、保護者へのフォローアップに取り組んでいく。

質問 上の原地区のまちづくりの現在の状況と今後の見通しは、

市長 都市計画道路の開通と併せ、上の原地区へのアクセス道路や地区内道路も交通開放し、アクセス性が向上した。商業施設も順次開業し、32年1月には屋外運動施設のオープンも予定している。

質問 施設の老朽化と施設整備プログラムの進め方は、

市長 改修工事等を計画的に実施していくことを目的に10年間の実行計画として策定した。しかし、重大な不具合が生じ修正が必要となった場合、対象施設の各種個別計画との整合や調整

公明党

民間活力の導入など行革の着実な実行を

質問 多岐にわたる懸案課題を乗り越えるための市長の決意を伺う。

市長 不断の行財政改革を進めながらも、地域の活性化を図り、まちの魅力を高めていく取り組みに力を注いでいく。

質問 風疹の予防接種を受ける機会がなかった39歳から56歳の男性に対し、今春から3年間、抗体検査と予防接種が無料化される。受けやすい工夫をすべきであると考えるが対応を伺う。

市長 対象者には市から無料クーポン券を送付する予定である。国・都の動向等を注視しつつ、他の自治体と情報連携を取りながら、適切に風疹ワクチン予防接種事業を実施していく。

質問 災害時に避難所となる小・中学校体育館へエアコン設置をすることについて、効率や経費削減等を見極めながら調査・研究し、設置への見直しを持つことを求めるが、いかがか。

市長 教育委員会では、実際の効果・効率および経費

節減といった面から他市の動向を注視していくこととされている。

質問 幼児教育無償化に向けての準備状況と周知方法は、

市長 子ども・子育て会議に資料を提示し、意見をいただくとともに、市のホームページなどにより、広く周知をしている。

質問 恒久的な自転車等駐車場の確保に向け、PFI等手法の導入のみならず、管理・運用面から、より効果的な事業形態で取り組むことを求めるがいかがか。

市長 PFI等手法の導入による財政効果が見込まれることから、さらに詳細な検討を進め、より良い事業手法を検討していく。

質問 下水道事業における地方公営企業法適用について、①市民周知は、②今後の下水道使用料の見直しは、

市長 ①広報等を活用し情報提供を強化していく。

質問 街灯のLED導入による温室効果ガス排出等の効果は、

市長 約88%の削減に至った。今後市内では25年度の排出量と比較して40年度までに40%の削減を目標に取り組みを強化していく。

質問 国民健康保険税について、①市民にとって高すぎると考えるが市長の認識は、②多子世帯への負担軽減を求め、見解を伺う。

市長 ①構造的な課題を解決するため、30年度から大改革が行われている。その中で国は、将来的に都道府県内において、保険料の平準化を目指すこととしている。②市長会等を通じ東京都へ要望した。

質問 都市計画道路の建設には、多額の財源を要し、立ち退きを強いられる市民も存在する。東村山都市計画道路3・4・13号線および3・4・21号線の整備をいったん凍結することを求め、見解を伺う。

市長 2つの路線は、優先的に整備すべき市施行の「優先整備路線」として選定されている。まちづくり

日本共産党

市民のくらしを守る市政に転換を!

質問 福祉の力を必要とする市民への施策が縮小しているが、住民福祉の向上にどう取り組むのか伺う。

市長 地方自治法に規定される地方自治体の役割を果たすべく、長として市政運営に取り組んでいる。

質問 家庭ごみ指定収集袋の早急な値下げを求める。

市長 制度の見直しについては、毎年度の検証・点検・情報提供を行っていく中で検討していく。

質問 多摩18市においてふれあい収集が実施されている。年度内の実施を求め、見解を伺う。

市長 具体のスケジュールは示せないが、実験収集に向け、課題の整理を行っている。

質問 国民健康保険税について、①市民にとって高すぎると考えるが市長の認識は、②多子世帯への負担軽減を求め、見解を伺う。

市長 ①構造的な課題を解決するため、30年度から大改革が行われている。その中で国は、将来的に都道府県内において、保険料の平準化を目指すこととしている。②市長会等を通じ東京都へ要望した。

質問 都市計画道路の建設には、多額の財源を要し、立ち退きを強いられる市民も存在する。東村山都市計画道路3・4・13号線および3・4・21号線の整備をいったん凍結することを求め、見解を伺う。

市長 2つの路線は、優先的に整備すべき市施行の「優先整備路線」として選定されている。まちづくり

に資する都市計画道路の整備を着実に進めていく。

質問 大阪府北部を震源とする地震の後、ブロック塀等の改修助成を創設する自治体が増えている。わが市での実施を求め、見解を伺う。

市長 現時点では難しいものと考えている。

質問 特別養護老人ホームの待機者は、昨年10月1日現在で33名となっている。施設の増設を求める。

市長 入所待機者の状況や施設の稼働状況などを把握しつつ、平成37年を見据えた中長期的な視点で、整備の必要性を検討していく。

質問 児童虐待防止の取り組みを抜本的に進めることを求め、見解を伺う。

市長 児童の安全と通報者保護の重要性を認識し、その徹底を図っていく。

質問 しんかわ保育園の存続を求め、見解を伺う。

市長 35年度末をもって閉園する手続きを進めている。

質問 文書管理システムとRPA(ロボティックプロセス)オートメーションの早期導入が必要と考えるがいかがか。

市長 文書管理システムについては、国における公文書管理の強化および働き方改革を受け、行政サービス水準の向上等へ結び付けていくため、検討していく。RPAについては、導入自治体の事例も増えてきており、注視したい。



4月1日開園の「わらべ東久留米保育園」(幸町一丁目)

